

日本海を越えていく



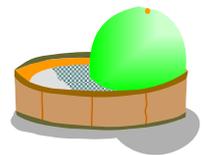
夏休みからの成長

校長 佐藤雅秀

今日で4か月に渡る1学期が終了しました。入学式の式辞で学校運営のキーワードである「安全で安心な学校づくり」を皆様にお約束して、それが叶えられた学期となったことは大きな喜びであり、陰ひなたになって児童生徒の背中を後押しして下さった保護者や地域の皆様に改めて御礼を申し上げます。

4月の新たな出会いからスタートし、行事や活動を重ねるごとに絆を深め、児童生徒は立派な栗島浦小中学校の“顔”となっていきました。また、月を経るごとに小学生・中学生としてそれぞれの学年の“顔(つき)”になっていったこともうれしい限りです。“顔”といえば、もう一つ。今学期中も学校だよりや学級だより、栗 stagram を通じて児童生徒の活動の様子をお伝えいたしました。たよりを発行する上で大切にしていることの一つに、この瞬間の表情を伝える、というのがあります。活動の様子は文字で伝わりますが、活動をしている一瞬の表情を伝えるには画像が一番です。たよりの作成者は、活動全体から児童生徒の一瞬の表情を切り取り、皆様にお伝えしているので、どの画像からもその瞬間の輝きをうかがい知ることができ、私自身楽しみの一つとしております。今後も、児童生徒の輝く瞬間を皆様にお届けしますので、楽しみにしててください。

さて、明日から夏休みが始まります。予定は各自様々のようで、「〇〇をするために△△に行く」「〇〇へ行って遊ぶ」「〇〇と一緒に遊ぶ」「夏期講習！」などの声が聞こえ、楽しく夢のある世界と現実の世界が交差していました。せっかくの長期休業ですので、目一杯楽しみ、学び、吸収してきてもらいたいと思います。



一方で、夏休みは児童生徒を学校社会から一般社会へとお返りする期間です。当然のことながら生活スタイルががらりと変わり、スケジュール等の自己管理が求められます。小学校下学年の児童は保護者の協力が必要となりますが、上学年以上の児童生徒は自分で管理を行わなければなりません。早い段階から自己管理する術を身につけることは大人への準備をすることであり、自己理解が深まり自己肯定感を高めることにもつながります。約1か月の休みをぜひ自己成長の時間として、有効活用してもらいたいと思います。

そのためには、夏休みを安全で安心な休みとすることが大事です。夏休みの過ごし方については児童生徒に指導してありますが、御家庭や地域でも見守りをお願いいたします。地方では、夏休みに入って早々に小学生や中学生の水難事故が相次ぐという痛ましいニュースが報道されました。楽しいはずの夏休みが一変して、悲しみに暮れる夏休みにしたくはありません。事故や事件はほんの一瞬の隙を突いて潜り込んできます。「危険箇所には近寄らない」「危険予知」「自分の身は自分で守る」を常に念頭に置き、意識ある行動をとってください。

8月30日には、小学生、中学生ともに、元気な姿で、お土産をいっぱい頭に詰め込んで登校してくることを願っております。

粟島の海を満喫！本物の海での授業です

～水泳授業の様子～



青い空、青い海、今年も待ちに待った水泳授業とシーカヤック・サップ体験を行いました。実際の海で行う授業に自然と笑みがこぼれ、楽しい時間を過ごしました。粟島には素敵な環境を生かした行事が多いですが、この海を生かした授業は本当にびっくり。粟島最高と思っと思います。この素敵で安全な授業のために、AED講習会や浜清掃に自ら進んで参加しました。また、保護者の皆様には、監視小屋の設営や水泳場のロープ張りなど、子どもたちのために御協力をいただき、本当にありがとうございました。おかげ様で児童生徒は最高の時間を過ごすことができました。

本との出会いが心を豊かに ～移動図書館&読み聞かせ会～



7月5日に、村上市中央図書館から図書館司書の方がたくさんの本と一緒に来校されました。本の説明や読み聞かせがあり、多くの本が紹介され、子どもたちも沢山の本を前にドキドキ、ワクワク。興味をもった本に出会い、目と心が釘付けで

した。素敵な本との出会いは、心を豊かにしてくれます。素敵な本と出会う子どもたちのキラキラした表情が印象的でした。



学校がアートで美しく

～児童生徒玄関前から～



小学校 5、6年生が中心となり、「わくわく学校プロジェクト☆」という学校をより楽しい場所にするための活動を行っています。第1弾は、「玄関のステンドグラス」。とても素晴らしいアート玄関となりました。今後もアート作品づくりを予定しており、アートに囲まれた学校が今から楽しみです。



感動の大運動会に向け、準備も着々です。

～運動会に向けた活動の様子



9月に行われる大運動会に向け、活動が始まっています。今年の運動会のスローガンは、「届け！我らの情熱 解き放て！三十の想い」です。新型コロナウイルスの影響で活動が制限された期間が終わり、ようやく大きな声を出して活動できる今を迎えています。赤組も白組も、テーマに合ったダンスやパネルづくりを自分たちで一から考え、一人一人が自分自身の考えをぶつけ合いながら一つのを創り上げようと頑張っています。当日は、今までの想いを感謝の気持ちを含めて全力で表現します。練習を見ていると、今から運動会当日が本当に楽しみです。保護者の皆様や地域の皆様も子どもたちのパワーはじける運動会を楽しみにしていただいね。



～保護者の皆様・村民の皆様へ～

令和5年度大運動会の御案内

○期日：令和5年9月9日(土)

8:00～11:40

※雨天の場合は、翌日10日(日)に
順延します。

○場所：粟島浦小中学校グラウンド

※10日(日)が雨天の場合は、体育
館で実施します。



笑顔と健康はきれいな歯から ～歯磨き教室から～



7月の中旬から養護教諭による歯の健康についての授業があり、虫歯や歯肉炎など歯の健康について勉強しました。歯は健康のバロメーター。歯が痛いだけで何一つ満足にできないもの。キラリときれいな歯は、笑顔を引き立たせるポイント。そう言えば、栗島浦小中学校のみなさんは、健康で笑顔



が素敵な子ばかり。虫歯のないきれいな歯を日々の生活から意識して、これからも健康と素敵な笑顔を大切にしてほしいです。笑顔と健康は栗島浦小中学校の財産です。

フルーツとハープの音色に心が奪われました！～アウトリーチコンサートから～



7月7日に体育館を会場にアウトリーチコンサートが行われました。フルーツ演奏者とハープ演奏者をお招きしたコンサートで、生演奏を聴きました。体育館全体に響く美しい音色とともに演奏者の表情や鼓動も目と肌で感じました。また、栗島浦小中学校の校歌を伴奏してくださり、みんなで歌い、感動に包まれました。実際に生演奏から伝わってくる音や迫力に感動し、あっという間に楽しい時間が過ぎました。



七夕に願いを込めて…。～全校集会:校長先生の話から～



7月3日に全校集会が行われ、校長先生から「七夕」についてのお話がありました。願い事を書き、笹の葉に吊るす短冊は、色が五色あるそうで、その色にはそれぞれ意図する意味があり、その色にあったことを書くのだそうです。七夕の歌の中に



「五色の短冊」とありますが、そんなことにも気付かず、ただ願いを吊るしていた自分が恥ずかしくなります。子どもたちはその意味を知り、色に合った願いを短冊に込め、笹の葉に吊るしました。この1学期、仲間を大切に、さまざまなことに全力で取り組んできたみなさん。そんなみなさんが短冊に願いを込める姿に、「みんなの願いを叶えてくれ！」と祈ってしまいました。